

2023年度 法科大学院

第1期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

次の事例におけるXの罪責について論じなさい。

事例

外国人であるXは、暴力団組長Aから紹介された土木工事会社で働いていたが、左足首を骨折したためAに引き取られ、Aから与えられた他人名義の健康保険証を用いて治療を受けていたが、その後、帰国する旨をAに告げてA組事務所（以下、「事務所」という）を出た。

このXの行為に対して、Aは、これまで面倒を見てきたXに裏切られたと思って激昂し、Aの配下の組員Bに命じて、Xを拉致して車に乗せ、事務所まで連行させた。

Xは、事務所に到着後、Aから、ガラス製の卓上ライターで頭部を殴打されて頭部裂傷の傷害を負わされ、小刀で左頬を突かれたり、手錠を掛けられて手の甲を踏みつけられ、さらには左足首を蹴りつけられるなどの暴行を継続して受けた。

そこでXは、Aらによる監視及び暴行から逃れるためには、組員Bらの見張りが手薄になったときを狙って事務所のドアを破壊して逃げるしかないと考え、A及び組員2名（B及C）が所用で外出し事務所内に組員が2名（D及びE）になった機会を捉え、ドアを、事務所の椅子を使ってたたき割り、脱出した。

その後、Xは逮捕され、所要の捜査が遂げられた結果、ドアの修理に掛かる費用は20万円、椅子も壊れており、その修理に10万円を要すること、XはAから継続的に暴行を受けていたものの、Aらによる監視及び暴行の下からの逃走が困難とは言えず、組員Bらによる見張りの隙を突き、事務所表出入口の鍵を外して逃走することは不可能ではなかったことが認められた。